

希望学園と福祉避難所に関する協定を締結

3月6日(水)、社会福祉法人相互福祉会希望学園様と「福祉避難所の設置運営に関する協定」の締結式を行いました。

この協定は、大規模地震、風水害及びその他の災害の発生時または発生するおそれがある場合に、本町からの要請により、避難所での生活において特別な配慮を要する障がい者(児)を受け入れるための福祉避難所を希望学園様に設置していただくものであり、障がい者(児)及びその家族などが避難所での生活を送ることができることを目的とするものです。

避難所での生活が難しく、福祉避難所を希望される場合は、福祉課へお問い合わせください。

- 場所：希望学園(宇美町ゆりが丘六丁目15番1号)
- 利用対象者：知的障がいがある方とその家族(原則1名)
- 定員：空室を利用
- 利用相談：福祉課 障がい者支援係
☎ 934-2278 FAX 933-7512(代)

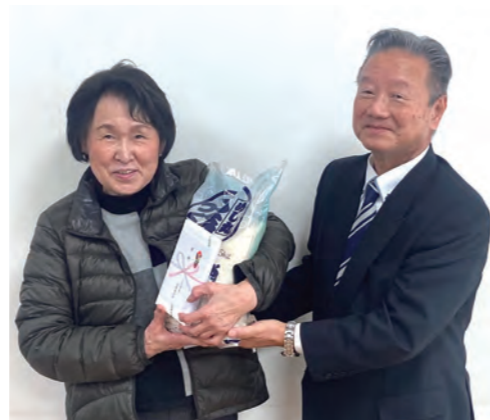


▲写真中央：希望学園の南里理事長(4月15日現在)

JA粕屋から「みんなの食堂」にお米をいただきました

JA粕屋の企業協力会から、みんなが輝く地域共生プロジェクト「みんなの食堂」に、お米120キロが贈呈されました。

代表の西依^{にしより}さんは「お米は運営に必要不可欠なので大変助かります。有効に使わせていただきます。みんなの食堂は、次年度以降も、子どもたちや地域のために多世代交流の居場所づくりを通じた地域貢献活動を続けます。」とあいさつされました。



▲温かいご支援ありがとうございました。

町スポーツ推進委員主催「体力測定会」が行われました

3月10日(日)、住民福祉センター体育館で町スポーツ推進委員主催の「体力測定会」が開催され、幅広い世代の町民が多く参加されました。

測定種目は握力、上体起こし、長座体前屈の全世代共通種目に加え、世代別種目として64歳以下の方は反復横とび、立ち幅とび、20mシャトルランを、65歳以上の方は開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行が行われ、参加者同士が競い合うかのように白熱した場面もあり、会場は盛り上がりしました。

「普段運動しないのでいい機会だった」、「自身の体力の衰えを感じた」などの声もあり、参加者の健康と運動に対する関心が高まる測定会となりました。



▲準備運動の様子



▲上体起こしの測定

歴史サポーター養成講座が修了しました

3月16日(土)、宇美町歴史サポーター養成講座の今年度最終講座が行われました。今回は、井野山にあった唐山城跡の現地見学を行い、シティプロモーション課学芸員の解説を聞きながら、座学で学んだ知識をさらに深めていきました。

頂上到着後、今期最後ということで、修了式を行い、受講者へ修了証が手渡されました。宇美町歴史サポーター養成講座は、「町の歴史を知ってもらおう、深く学ぼう！そして郷土宇美を愛してもらおう！！」をテーマに、町の歴史を愛するサポーターを養成することを目的とした講座です。令和5年8月から開講(全8回)し、学芸員による講座や、現地見学などを行いました。来年度も開講予定としていますので、詳細は広報うみなどでお知らせします。



▲宇美町歴史サポーター養成講座 修了式!



▲第4回講座 宇美八幡宮を学ぶ!(11月)

ラグビー体験会を実施しました

3月24日(日)、宇美南中学校体育館で、子どもたちを対象に『はじめてのラグビー体験会』を実施しました。この体験会は、令和5年6月に当町のスポーツ推進のために包括連携協定を締結した福岡県ラグビーフットボール協会様のご協力のもと開催できました。

講師として、高井明彦さん(元ラグビー日本代表(7人制)ヘッドコーチ、元コカ・コーラレッドスパークスコーチ)をお迎えし、ラグビーの動きを通じて、体を動かすことの喜びを教えてくださいました。

終盤には、タグラグビーを体験し、子どもたちはボールを前にパスしてはいけないというルールに戸惑いながらも、楽しそうに走っていました。



▲熱戦となったタグラグビーの様子



▲参加した子どもたち